

BD / DVD

セットアップガイド

BRD-SH8B この度は、「BRD-SH8B」(以下、本製品と呼びます。)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用の前に[本書]をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いいたします。

I-O DATA

B-MANU201045-02

動作環境の確認

	Blu-ray Disc/DVD映像編集時、Blu-ray Disc/DVD映像再生	フルレイディスク Blu-ray Disc/DVDデータ書込時
対応機種 ^{※1}	本製品が取付可能なドライブベイ(5インチベイ)とSerial ATAインターフェイス ^{※4} を搭載したDOS/Vマシン	
対応OS	Windows Vista ^{※32aのみ} 、Windows XP Service Pack 2	Windows Vista ^{※32aのみ} 、Windows XP Service Pack 2、Windows 2000 Professional Service Pack 4
搭載CPU	Core 2 Duo E6400(2.13GHz)以上 AMD Athlon 64 X2 3800+以上	Pentium 4 (1.8GHz)以上
メモリ	1GB以上	512MB以上
ハードディスク	空き容量 30GB以上 (Blu-ray映像編集時は60GB以上推奨)	
ディスプレイ	1024×768ピクセル以上の解像度	
インターネット	本製品をご利用には、インターネット接続環境が必要です。	
対応メディア ^{※5}	●B D : BD-R、BD-RE ^{※6} 、BD-ROM ●DVD : DVD+R ^{※7} 、 ^{※8} 、DVD+RW、DVD-R ^{※8} 、 ^{※9} 、DVD-RW、DVD-RAM ^{※10} 、DVD-ROM ●C D : CD-R、CD-RW、CD-ROM	

メディア	メディアの速度	メーカー名
1層BD-R	6倍速(最大8倍速書き込み ^{※13})	ソニー、TDK
	6倍速	パナソニック
	4倍速(最大8倍速書き込み ^{※13})	TDK、パナソニック、日立マクセル、三菱化学
	2倍速(最大8倍速書き込み ^{※13})	三菱化学
2層BD-R	2倍速(最大8倍速書き込み ^{※13})	パナソニック、日立マクセル
	2倍速	ソニー
	2倍速(LTH)	太陽誘電、日立マクセル、日本ビクター、三菱化学
	6倍速(最大8倍速書き込み ^{※13})	TDK
推奨メディア ^{※11}	6倍速	パナソニック
	4倍速(最大6倍速書き込み ^{※13})	TDK、三菱化学
	4倍速	パナソニック
	2倍速(最大4倍速書き込み ^{※13})	三菱化学
1層BD-RE	2倍速	TDK、パナソニック
2層BD-RE	2倍速	ソニー、TDK、パナソニック、三菱化学
1層DVD+R	2倍速	TDK、パナソニック
2層DVD+R	16倍速	ソニー、太陽誘電、日立マクセル、三菱化学
DVD+RW	8倍速	ソニー、太陽誘電、三菱化学
1層DVD-R	8倍速	リコー
2層DVD-R	4倍速	三菱化学
DVD-RW	16倍速	ソニー、太陽誘電、日立マクセル、三菱化学
DVD-RAM ^{※12}	8倍速(最大4倍速書き込み)	ソニー、太陽誘電、日立マクセル、三菱化学
CD-R	4倍速	三菱化学
CD-RW	5倍速	パナソニック、日立マクセル
	3倍速	パナソニック、日立マクセル
		三菱化学

※1 より詳しい対応機種情報を対応製品表エンジン(PIC)にてご案内しております。
<http://www.iodata.jp/pio/>

※2 Blu-rayを再生する際には、以下の環境が必要です。

- チップセット: i945以上
- 以下の条件を満たしたグラフィックアクセラレータボード:
 - ・PCI-Express接続
 - ・NVIDIA社製GeForce 8400GS以上またはAMD社製Radeon HD 2400以上またはIntel GMA X4500HDを搭載
 - ・ビデオメモリ256MB以上を搭載
 - ・(デジタル接続の場合) HDCPIに対応したDVIもしくはHDMIコネクタを搭載
 - ・最新のドライバがインストールされていること
- ディスプレイ(デジタル接続の場合) HDCPIに対応したDVIもしくはHDMIコネクタを搭載したディスプレイ
- アナログ接続での再生は2010年まで

※3 CPRM技術で録画されたDVDメディアを再生する場合は、以下を満たしている必要があります。
●グラフィックアクセラレータボード:

- ・PCI-Expressと接続
- ・最新のドライバがインストールされていること
- ・HDCPIに対応したDVIもしくはHDMIコネクタを搭載

- ディスプレイ: HDCPIに対応したDVIもしくはHDMIコネクタを搭載

※4 ●Intel 915以降のチップセット、ICH6以降を搭載したパソコンに対応しております。
●増設されたSerial ATA接続インターフェイスには対応していません。
●本製品にはSerial ATAケーブル及びSerial ATA電源ケーブルは添付していません。パソコン本体に添付してない場合は別途ご用意ください。

※5 ●書き込みは12cmメディアのみ対応しております。
●BD-DVD、CDへの書き込みを行う際には、各々の書き込み速度に対応したメディアが必要です。

※6 カートリッジタイプのBD-REメディアには対応していません。

※7 2層DVD+Rメディアにマルチセッションにて書き込みを行った場合、他のドライブでは最初のセッションのみ読み込むことができます。

※8 2層DVD±Rメディアに、「B's CLIP」にて書き込みを行った場合、他のドライブで読み書きできません。

※9 2層DVD-Rメディアへの書き込みは、ディスクアットワンスのみ対応しております。

※10 カートリッジから取り出し不可能なメディア(TYPE I)および2.6GB/面のメディアには対応していません。

※11 ●推奨メディア以外を使用した場合は、メディアの品質により正常に書き込みできないことがあります。
●最新の情報は、弊社ホームページにてご確認ください。
●メディアメーカーの生産の都合により、入手困難となる場合があります。

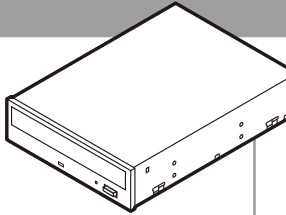
※12 2倍速以下のメディアは読み込みのみ対応しております。

※13 弊社は記載の倍速メディアにてメディアの倍速を超える高速の書き込みを確認しておりますが、全ての環境についてメディアの倍速を超える高速の書き込みを保証するものではありません。また、メディアメーカーへの本製品でのメディアの倍速を超える高速の書き込みに関するお問い合わせはご遠慮ください。

1.準備しよう

内容物を確認します

- ☐ にチェックをつけながら、ご確認ください。
万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターにご連絡ください。



- ☐ ドライブ(1台)
- ☒ セットアップガイド(本書/1枚)
- ☐ BD Proツールズコレクション for BRD-H8 (CD-ROM/1枚)
- ☐ CorelソフトウェアCD(CD-ROM/1枚)
- ☐ Ulead DVD MovieWriter CPRM対応キーダウンロードのご案内(1枚)
- ☐ 取り付けネジ(4本)
- ☐ ハードウェア保証書(1枚)

ハードウェア保証書について
「ハードウェア保証書」と「保証規定」は、本製品の箱に印刷されております。本製品の修理をご依頼いただく場合に必要となりますので、大切に保管してください。

シリアル番号(S/N)をメモします

シリアル番号(S/N)は本製品底面に貼られているシールに印字してある12桁の英数字です。(例:A0A0000000XX)
シリアル番号(S/N)を下下の枠にメモしてください。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

シリアル番号(S/N)は以下の際に必要な場合があります。
最新版ファームウェア等のダウンロード <http://www.iodata.jp/lib/>
ユーザー登録 <http://www.iodata.jp/regist/>

各部の名称

ドライブ前面

トレイ

緊急イジェクトホール

メディアが取り出せなくなった場合に使用します。

アクセラランプ

イジェクトボタン

読み書き・イジェクト時に点灯/点滅します。

トレイの出し入れを行います。

注意

アクセラランプの点灯/点滅中は、パソコンをリセットしたり、電源を切ったりしないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。

ドライブ背面

Serial ATAコネクタ

パソコンのSerial ATAケーブルを接続します。

Serial ATA電源コネクタ

パソコンのSerial ATA電源ケーブルを接続します。

製品仕様

ドライブ名	BH08N(OEM供給元:株式会社日立LGLデータストレージ)										平均アクセスタイム		●BD-ROM:180ms ●DVD-ROM:160ms ●DVD-RAM:180ms ●CD-ROM:150ms		
インターフェイス仕様	Serial ATA										適合フォーマット		●B D:BD-ROM, BD-R, BD-RE ●DVD: DVD-Video, DVD-ROM ●C D:CD-ROM mode1, CD-ROM mode2(form 1, form 2), CD-I, PhotoCD, Video CD, CD-DA, CD-TEXT		
設置条件	設置方向: 水平、垂直 (垂直は12cmメディアのみ対応)														
ディスクローディング方式	トレイタイプオートローディング										書き込み方法		●BD-RE: Random Access, Sequential Recording ●BD-R: Sequential Recording ●DVD+R/R DL: Sequential write ●DVD+RW: Random write ●DVD-R: Disc at Once ●DVD-R DL: Disc at Once, Incremental ●DVD-RW: Disc at Once, Incremental, Restricted Overwrite ●DVD-RAM: Random Access ●CD-R/RW: Disc at Once, Session at Once, Track at Once, Packet Writing		
データバッファサイズ	4MB		書き込みエラー回避機能				搭載								
最大書き込み/読み込み速度	BD [※]	1層-R	2層-R	1層-R(LTH)	1層-RE	2層-RE	1層ROM	2層ROM	電源仕様	DC +5V±5%、+12V±10%					
		x8	x8	x2	x2.3	x2	-	-							
	DVD	1層-R	2層-R	+RW	1層-R	2層-R	-RW	1層ROM	2層ROM	定格電流	5V:1.2A, 12V:1.6A				
	x8	x8	x4	x4.8	x4.8	x8	x8								
書き込み	読み込み	x16	x4	x8	x16	x4	x6	x5	-	-					
		x16	x8	x10	x16	x8	x10	x5	x16	x12					
CD	書き込み	-R	-RW	ROM					動作温度	+5~+35℃(パソコンの動作する温度範囲であること)					
		x48	x24	-											
読み込み	動作湿度	x48	x40	x48					20%~80%(結露なきこと)	外形寸法		146(W)×185(D)×41.3(H)mm (突起部分を除く)			
※ BD×1の転送速度はDVDの×3.25に相当します。												質量		約900g	

2.接続しよう

●お使いのパソコンによっては、BIOSの設定が必要です。本製品が認識されない場合は、パソコンのBIOSを確認してください。パソコンのBIOSの設定方法はパソコンの取扱説明書をご覧ください。
●Serial ATAインターフェイスをRAIDモードに設定しないでください。

手順.1

パソコンと周辺機器の電源を切り、パソコンの電源ケーブルをコンセントから抜きます。

手順.2

パソコンのルーフカバー、5インチベイのカバーを外し、本製品を取り付けます。
ルーフカバー、5インチベイのカバーについてはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

手順.3

各ケーブルを接続します。

① Serial ATAケーブル

パソコン本体から出ているSerial ATAケーブルを、本製品のSerial ATAコネクタに接続します。

※本製品にはSerial ATAケーブルを添付していません。パソコン本体にSerial ATAケーブルがない場合は、別途ご用意ください。

② Serial ATA電源ケーブル

パソコン本体から出ているSerial ATA電源ケーブルを本製品のSerial ATA電源コネクタに接続します。

※本製品にはSerial ATA電源ケーブルを添付していません。パソコン本体にSerial ATA電源ケーブルがない場合は、別途ご用意ください。

注意

ケーブルには向きがあります

Serial ATAケーブルの凸部が右側、Serial ATA電源ケーブルの凸部が左側になるように挿入します。
逆向きでは挿し込めないようになっていますが、無理に差し込もうとすると、コネクタが破損します。
※パソコンによってSerial ATAケーブルの形状が下図と若干異なる場合があります。Serial ATAケーブルであれば仕様は同じですので、凸部の向きにだけご注意ください。ご使用ください。

凸部

Serial ATA電源ケーブル

凸部

Serial ATAケーブル

手順.4

添付のネジで本製品を固定します。
パソコンによって、ネジ穴の場所や数が異なります。詳しくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

手順.5

パソコンのルーフカバーを取り付け、ケーブルや周辺装置を元に戻します。

3.確認しよう

正常に使用できるかを確認します

パソコンを起動して[マイコンピュータ] (または[コンピュータ])を開き、本製品のアイコンが追加されていることを確認します。アイコンが追加されていれば、本製品をご使用いただけます。

アイコンの追加を確認

Windows Vista[※]の場合

Windows 2000の場合

↑ (画面例: Windows XP、メディア未挿入、Fドライブとして認識している場合)

●ドライブ文字(番号)は環境によって異なります。

こんなときには

アイコンが追加されていない場合

- [表示]メニューの[最新の情報に変更]をクリックしてみてください。
- ケーブルの接続が正しく行われていることをご確認ください。
(パソコンの電源を切り、再度ケーブルを抜き差ししてください。)
- 添付DVD-ROMに収録されているQ&Aの[困ったときには]「パソコン接続時の問題」の対処をご覧ください。

注意事項

その他ご注意

- ケーブルを抜くときは、ケーブル部分を引き張らないで、コネクタを持って抜いてください。
- 一部のウイルス対策ソフトがインストールされている場合には、動作が不安定になる場合があります。
- 本製品にメディアを入れたまま移動したり傾けたりしないでください。本製品やメディアを破損します。
- 本製品を長時間使用した場合は、一旦メディアを取り出し数分おいてから書き込みを行ってください。

裏面へお進みください。➡

